



# COST SAKUGENGER



神戸大学  
コスト削減プロジェクト  
発表会



# 神戸大学コスト削減方策について

—全体説明—

平成23年7月7日

契約課長 入木田浩幸



# 今なぜコスト削減か？

1. 大学の使命は、教育と研究を通じて、**人類社会への貢献**をなすこと。
2. 『**神戸大学ビジョン2015**』にも示されているとおり、この使命の達成に向けて、本学の構成員が一体となって取り組まねばならない。
3. 貴重な資金で、優れた教育と研究活動を実施するためには、『**コスト削減の徹底的な追及**』が必要。
4. この局面を切り開くものとして、**コスト削減活動**—『**コストサクゲンジャー**』活動が一つの鍵となる。



# 本学のコスト削減活動

1. 事務局コスト削減プロジェクト（H20年～先行実施）
  - ☆ 事務局物件費約10億円の5% = **50百万円目標**  
⇒49,469千円（H22'実績見込）、達成率98.9%
2. 全学コスト削減プロジェクト（H22～実施中）
  - ☆ 全学に係る物件費（附属病院を除く）約65億円（平成20年度決算額）の3% = **2億円目標**
  - ☆ 全学コスト削減方策を策定し、学長に答申（平成23年2月22日答申）
  - ☆ コスト削減を継続して実施するための具体的なPDCAサイクル体制の構築。

# 「神戸大学コストサクゲンジャー」活動報告

## 神戸大学コスト削減プロジェクトチーム

### 事務局コスト削減PJから 全学コスト削減プロジェクトへ

第1号 2010年7月1日発行

#### 学長からのメッセージ

神戸大学は国際的に卓越した大学となるため、「神戸大学ビジョン2015」を掲げ、全学を挙げて取り組んでいるところです。その大学運営の安定化に資するため、業務運営の改善、効率化を図る必要があります。

世界的企業であるトヨタ自動車やパナソニックには、その強さの背景に「コスト削減力」があります。企業の手法を参考とし、本学事務局において実施した『コスト削減プロジェクト』を全学に拡大するため、6月8日に全学プロジェクトを立ち上げました。

今後大学を担っていく若い人たちの積極的な取り組みが、研究・教育の発展に寄与することを期待しています。



#### 背景

運営費交付金

毎年度△1%削減 → 臨時的△1.4%削減(H22)

依然として削減方向

本学においても、コストの削減・効率化を図ることが課題

#### プロジェクトについて

◎プロジェクトでは、神戸大学全学の「経費の節減」を推進し、教育・研究の発展に寄与する。

◎メンバーは全部局より選出された職員によって構成されています。

- ▶プロジェクトリーダー：財務担当理事
- ▶サブプロジェクトリーダー：財務部長
- ▶主査：契約課長
- ▶構成員：各部職員 計19名

◎月1～2回検討会を行い、コスト削減案や具体的な行動計画を作成します。

◎コスト削減案の提言は、以下の日程で行う予定です。

- ・10月中旬 → 中間報告
- ・H23.2月 → 最終報告

#### 到達目標

◎全学に係る物件費(附属病院を除く)6.5億円の3%2億円の削減を目指す。

◎プロジェクトを通して、神戸大学全教職員のコスト削減への「意識改革」を促進します。

今後もプロジェクトの活動状況を報告していく予定です。

#### 学長より辞令交付

6月8日第1回コスト削減プロジェクト会議の前に学長より各構成員に辞令交付がなされました。

学長の民間での経験を下に、コスト削減に期待するお言葉をいただきました。

#### 第1回コスト削減プロジェクト会議 キックオフ

6月8日第1回コスト削減プロジェクト会議に合わせ、パナソニック(株)の全社コストバスターズプロジェクトリーダーの小西ゆかり氏、参事の饗庭正樹氏より「パナソニックのコストバスターズ活動について」ご講演をいただきました。

##### ○成果を挙げている秘訣

「見える化」「自分化」「直ぐやる化」全員参加で、明るく、楽しく取り組む

①見える化～様々な活動に係るコストを可視化

②自分化～自分の問題に焼き直す  
プロジェクトに女性に入ってもらい、家計を預かる主婦感覚で

③直ぐやる化～改善策を即座に実行

##### ○具体的手法

①見える化～出がねの見える化  
コストトップ10にメスを入れる

②2W1H～What,Whom,How  
何を、誰に、どのように

③横展開～各事業所への展開

その他具体的事例などもご紹介いただき、講演終了後、質疑応答がなされ、コスト削減プロジェクト会議構成員にとって有意義な時間となりました。

神戸大学コストサクゲンジャーは、みなさんからのご意見やご提案をメールで受け付けております。  
「この物品購入を見直すことでコスト削減できるのでは?」「うちの係ではこんなコスト削減をしています!」など身の回りにあるコスト削減のあれこれを下記までどうぞ!

hq-sakugenger@office.kobe-u.ac.jp

**COST SAKUGENGER**





# 「神戸大学コストサクゲンジャー」活動報告

神戸大学コスト削減プロジェクトチーム

第7号 2011年2月28日発行

## プロジェクトの最終報告を行いました！

2月22日（火）の理事懇談会でプロジェクトの最終報告を行い、本プロジェクトにおいて検討したコスト削減方策、コスト削減見込額等を報告するとともに、今後のコスト削減活動について、「5つの柱」を推進していくことが重要であると提言しました。

### 1. 継続

意欲を燃やし続け、「継続する」根気が成功への最大のファクターである。

また、①権限を有する者で構成される組織体制の構築、②各部局における権限を有する責任者の参加、③戦略的な初期投資の配分、といった継続的に取り組む組織体制が必要である。

### 2. PDCAの徹底

本学におけるコスト削減活動は始まったばかりであるため、今後、実施に向けて種々検討し、実施から検証、見直し立案、再実施という「PDCAサイクル」を構築し、徹底して行っていくことが重要である。

### 3. 見える化

「見える化」には二つの意味がある。一つは、①取組みの方針、内容、成果等の「見える化」、もう一つは、②コストの単価や購入数量、発生時期等のコスト内容の「見える化」である。今後、2つの「見える化」を推進していく。

### 4. 部局単位の推進～横展開

部局単位でコスト削減を達成し、その成果の全学周知を図り、「横展開」を図ることが理想である。横展開を進めるため、コスト削減に成功した事例を「Before/Afterシート」に整理し、かつ、ホームページに掲載する等、共有できるシステムを推進していく。

### 5. DNA化

職員の全員がコスト削減活動を体験し、コスト感覚とコスト改善意欲を有する職員へと進化し、日常的にそうした行動を取れるようになることが重要である。毎年のコスト削減成果も大切だが、教職員のコスト削減意識の強化もターゲットとして進めていく。

コスト削減のための「5つの柱」

### ◆コスト削減見込額

①短期削減額	⇒	93,722千円
②中期削減額	⇒	16,874千円
③長期削減額	⇒	45,884千円
④その他削減額	⇒	47,787千円
<b>合計</b>		<b>204,267千円</b>

**2億円の  
目標達成!!**

### 【削減案の短期・中期・長期の区分】

- ①短期・・・平成23年4月から実施可能と思われる事項
- ②中期・・・1年程度の検討・調整が必要と思われる事項
- ③長期・・・2～3年程度の検討・調整が必要と思われる事項
- ④その他・・・概算要求などの予算措置が必要な事項

## 水道料金の削減に向けて～さまざまな節水グッズの活用～

大学においては、水道・電気・ガス代など、光熱水費の削減も重要なことです。今回は、そのなかでも水道料金の削減について考えてみたいと思います。

水道料金を減らすためにすべきことは、まず漏水がないかをチェックすることです。漏水は、ほとんど糸状のものであっても月あたりの水道料金は約2千円前後にもなります。無駄な水道料金削減のために、日常から漏水チェックを怠らないようにしたいものです。

また、さまざまな節水グッズを活用することで、水道料金削減につなげることができます。下記にいくつかのグッズについて紹介したいと思います。

### 流水擬音装置の設置

トイレを使用する際、1回に流れる水量は、約15リットルもあります。流水擬音装置を使用し、水を流すのを1度とした場合、下記のような削減が可能です。

◎水道1リットルあたり0.75円  
1日のトイレ使用回数平均4回  
年間稼働日数265日  
使用人数20人 とすると

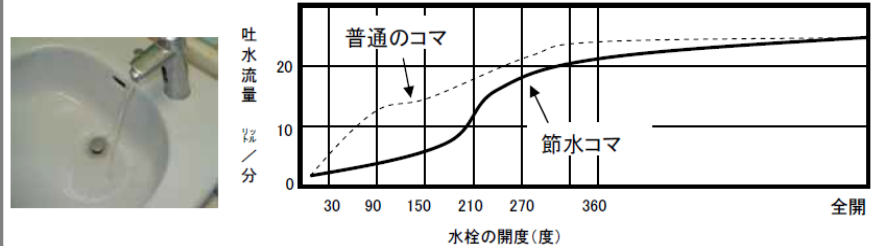
**削減金額 △35万円**

### 節水コマの活用

節水コマの取り付けは、大きな節水効果があります。(下記の表及びグラフ参照) 節水コマの節水効果は、最大50%にも及ぶといわれています。このような利用しやすいグッズを活用し、削減につなげたいものです。

### ■節水コマの効果 水量の違い

ハンドル開度	節水コマ	普通コマ
90度	6リットル/分	12リットル/分
全開	21リットル/分	21リットル/分



神戸大学コストサクゲンジャーは、みなさんからのご意見やご提案をメールで受け付けております。BAシートをご利用ください。(様式は、weby-Goの文書管理「07財務部」→「03契約課」→「神戸大学コスト削減プロジェクト会議」に添付しています。)  
「この物品購入を見直すことでコスト削減できるのでは?」  
「うちの係ではこんなコスト削減をしています!」 など身の回りにあるコスト削減のあれこれをお知らせください!

hq-sakugenger@office.kobe-u.ac.jp

**COST SAKUGENGER**





# コスト削減方策の考え方

明るく、楽しく！

## 1. 『3つの観点』により策定

『調達改善』・・・調達方法等を改善すること。

『運用改善』・・・運用方法等を改善すること。

『設備改善』・・・設備自体を改善すること。

B/Aシートを作成

## 2. 『実施時期』ごとに整理

『短期』・・・平成23年4月から実施可能事項。

『中期』・・・1年程度の検討・調整が必要な事項。

『長期』・・・2～3年程度の検討・調整が必要な事項。



# Before/Afterシート

1. Before/Afterシートとは・・・、

コスト削減方策を検討するにあたり、現状とコスト削減後の状況とを対比させることでコスト削減方策の考え方を整理し、かつビジュアル的に分かりやすくした図表。



# 削減方策（複合機のレンタル契約の見直し）

①調達－1

## Before

レンタル契約（3年更新）



- \* 現在、複合機の契約は随意契約を行っており契約期間は3年（賃貸借契約）及び1年（保守契約）である。
- \* 平成20年度からは、一部の複合機の契約は一般競争契約を行い、契約期間は3年（賃貸借契約及び保守契約）である。
- \* 複数のメーカーの機器を複数業者から調達し、かつ保守は単年度契約しているためスケールメリットが活かされておらず、また、これに伴って複合機に関わる調達事務等が煩雑となっている。

対象金額 375,348千円

## Hurdle



- \* 契約期間を長期（5年間）にするとその間機種の変更ができない。
- \* サービス提供機器の選択肢が少なくなる。
- \* 機器によっては、現在よりも割高になる場合がある。

## Clear



- \* 契約時に、各部署に設置する複合機が用途に適している機種であるか十分に検討する。

## After

レンタル契約（5年更新）



- \* 賃貸借契約と保守契約の両方と付帯するサービスを合わせた役務契約を実施する。
- \* 契約期間を5年とする。（現状は賃貸借契約は3年）

削減金額 63,464千円

# コスト削減見込額について

## 1. 実施時期等の区分

- ①短期 ……平成23年4月から実施可能と思われる事項
- ②中期 ……1年程度の検討・調整が必要と思われる事項
- ③長期 ……2～3年程度の検討・調整が必要と思われる事項
- ④その他……概算要求などの予算措置が必要な事項

## 2. コスト削減見込額(概算)

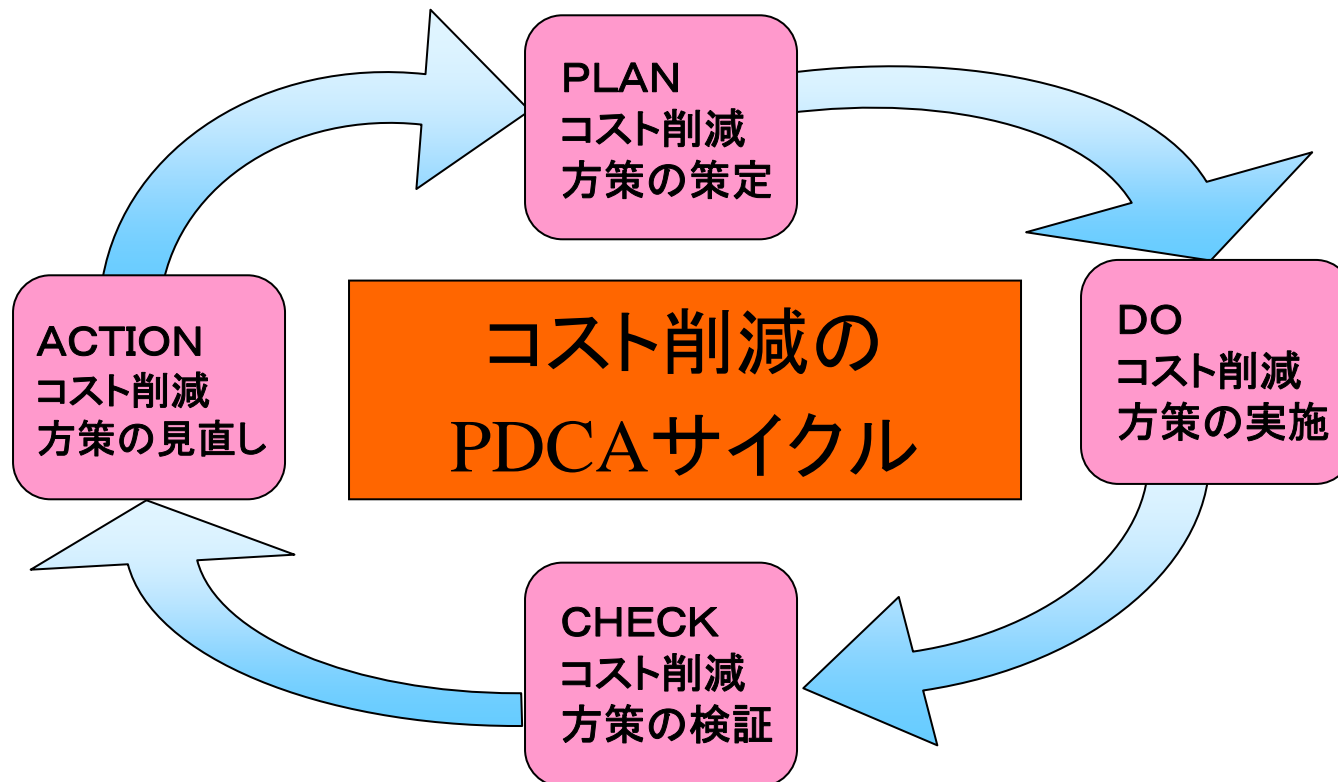
①短期(第一次)削減額	⇒	93,722千円
②中期(第二次)削減額	⇒	16,874千円
③長期(第三次)削減額	⇒	45,884千円
④その他削減額	⇒	47,787千円
合計		<u>204,267千円</u>



2億円の  
目標達成!?

# PDCAサイクル体制の構築

※ 全学的なコスト削減の『PDCAサイクル』体制の構築。



※ 全学的に継続して『コスト削減』活動を行うことが重要！



# 5つの柱の推進を！

## 1. 継続

☆ 『継続する』根気が成功へのファクター

## 2. PDCAの徹底

☆ PDCAサイクルを構築し、徹底して行っていく。

## 3. 見える化

☆ 2つの『見える化』を推進（①成果、②内容等）

## 4. 部局単位の推進～横展開

☆ 将来的に部局単位の取り組みに移行⇒横展開

## 5. DNA化

☆ コスト感覚とコスト改善意識を有する構成員へ。





コスト削減活動は、まだまだ  
始まったばかりですので、ご  
理解とご協力をお願いします。